



●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。※ 内はロットNo.表示位置を示します。

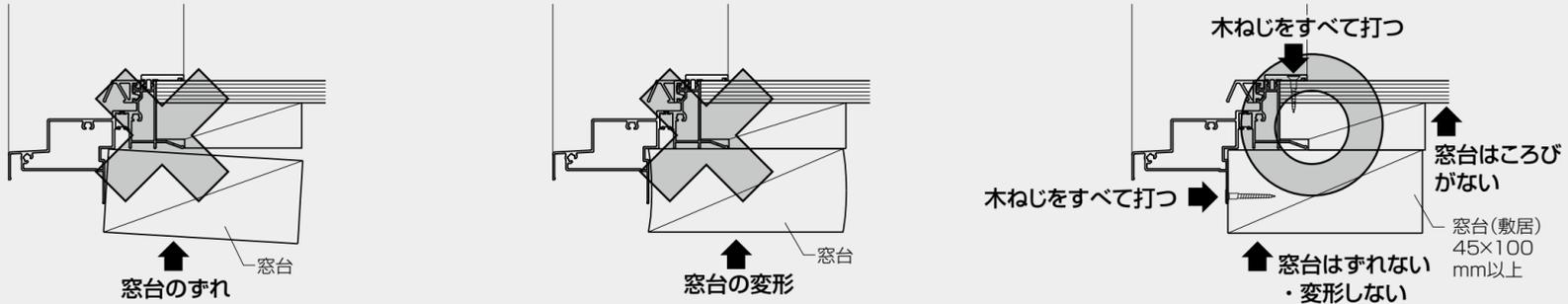
■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本体吊込みの際は相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(組立て後の本体重量は最大65Kgになります。)
- 風のあおりなどによるドア本体の落下・枠や外壁材の損傷・漏水・ドアの開閉不良、サッシ下枠の垂れ下がりによる気密・水密・断熱性能の低下の原因になるおそれがありますので、下記項目をお守りください。
- ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。



・吊元側(丁番側)の枠は、くだ柱に取付けてください。やむを得ず間柱に取付ける場合は、間柱とくだ柱との間に補強材として構造用合板、又は胴縁(30×90)を入れてください。

■取付け上のお願い

- 必ず指定の木ねじで枠を固定してください。
- 上枠のハリ・タレは3mm以内に抑えてください。
- 縦枠は必ず垂直に取付けてください。
- 本体は枠を躯体に固定した後、吊込んでください。
- 本体の吊込み後、必ずチリ合わせブロックを外してください。
- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■取付けねじ一覧表

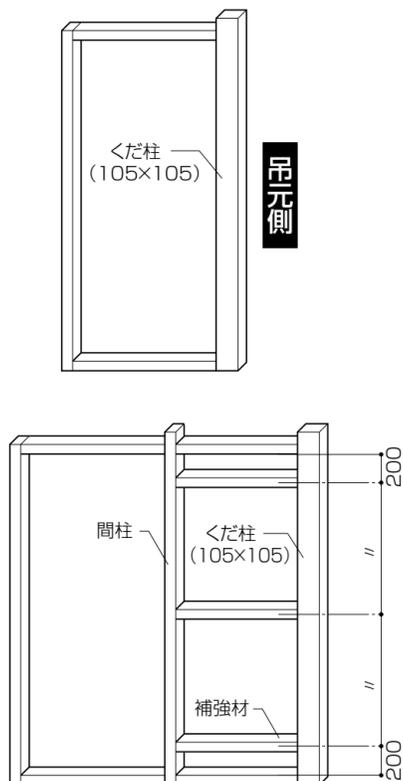
	皿木ねじ φ3.8×38	
	皿木ねじ φ3.1×20	

■取付け順序

1 躯体の確認と補強

▲注意

●吊元側(丁番側)の枠は、くだ柱に取付けてください。やむを得ず間柱に取付ける場合は、間柱とくだ柱との間に補強材として構造用合板、又は胴縁(30×90)を入れてください。

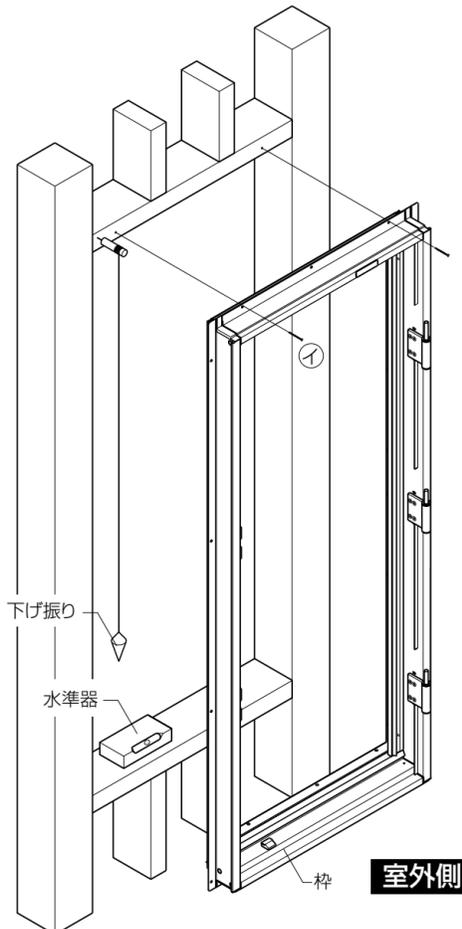


2 枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めます。

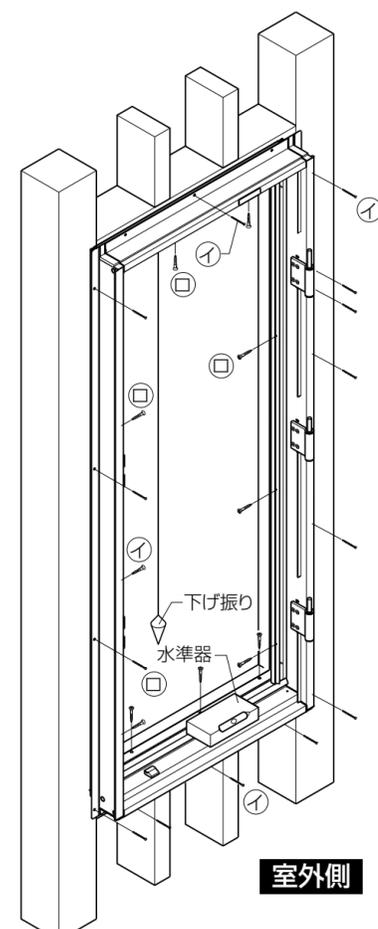
▲注意

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

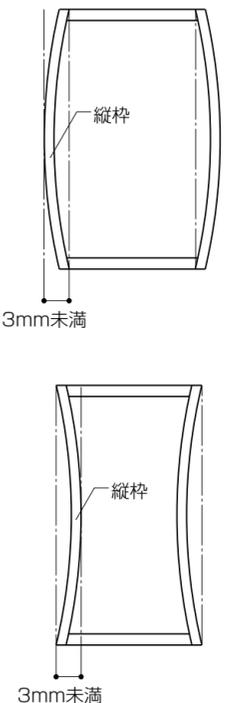


3 枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。
※縦枠は、必ず垂直に取付けてください。(開閉障害・すき間が生じるおそれがあります。)



●お願い
※縦枠のたわみ・反りは3mm未満にしてください。グレモン錠がからなくなります。



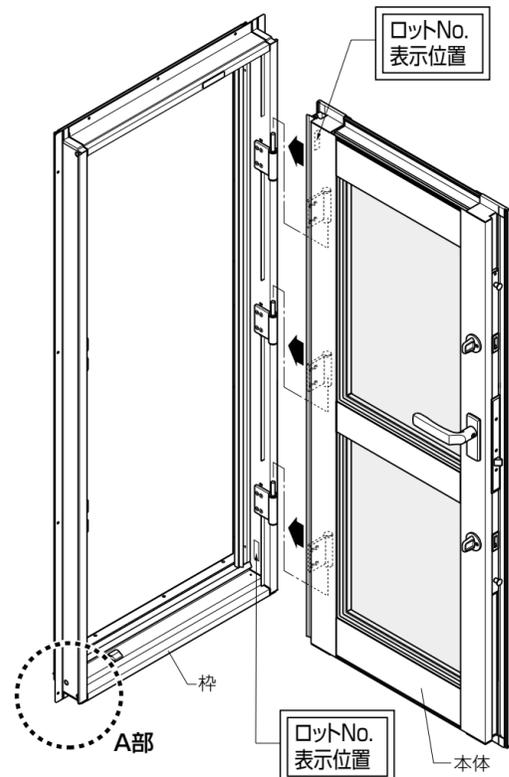
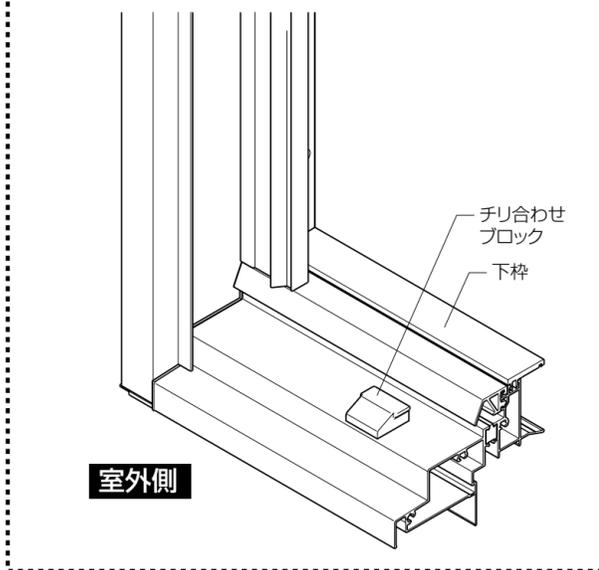
4 本体の吊込み

- ① ドアを90°以上開き、上の丁番から吊込みます。
※丁番は在来工法でH20（サッシH2030）以下の場合は2枚、H20より大きい場合は3枚付いています。
- ② 下枠に両面テープで張ってあるチリ合わせブロックを外します。

お願い

※施工完了後は必ずチリ合わせブロックを取外してください。
(ドアの開閉に支障がでます。)

■A部詳細図

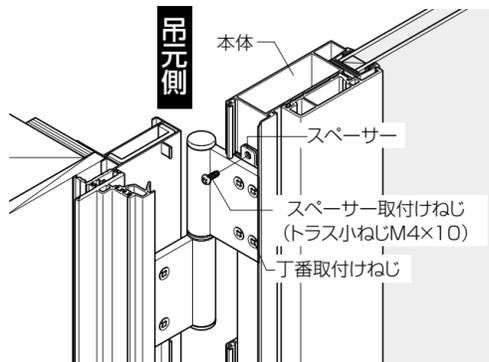


■建付け調整……ここで説明する建付け調整は、枠を取付けた後で調整が必要になった場合の補助的なものです。

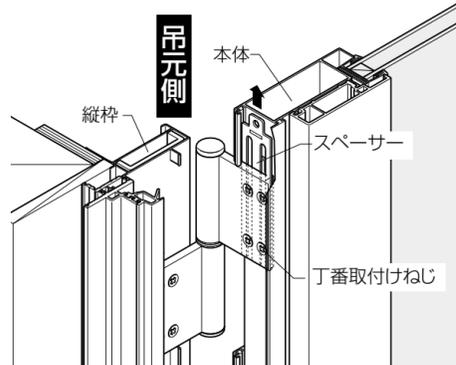
■左右方向の調整



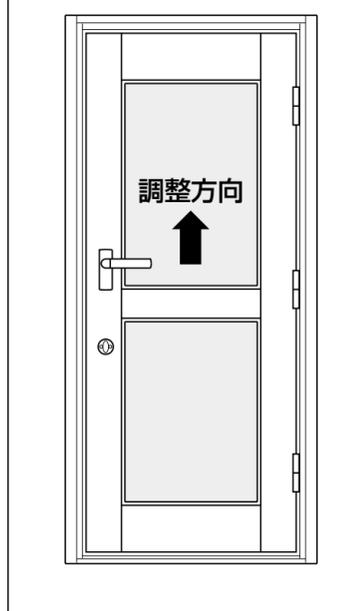
- ※スペーサーはあらかじめ本体に取付けてあります。
- ① スペーサー取付けねじを外します。
- ② 丁番取付けねじ（4本）を緩めます。



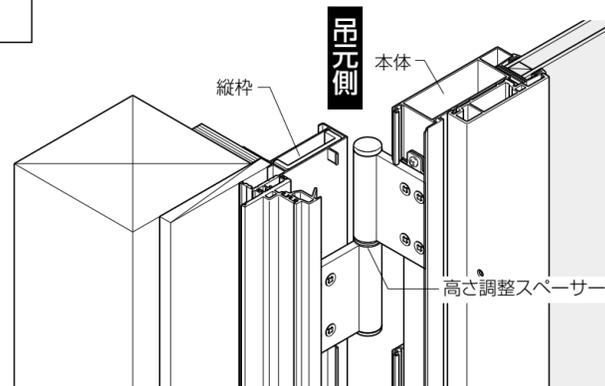
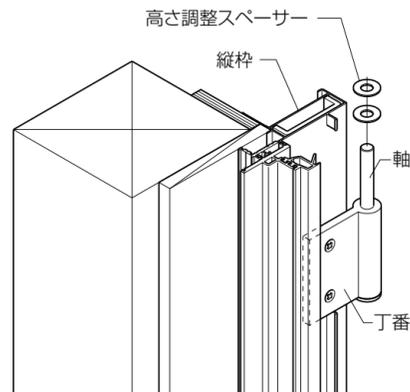
- ③ スペーサーを引抜いて外します。
 - ④ 丁番取付けねじを締付けます。
- ※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mm、本体が吊元側へ寄ります。
※樹脂丁番スペーサーの場合、1枚外すと1.75mm、2枚外すと3.5mm、本体が吊元側へ寄ります。
(樹脂丁番スペーサーは2つ折りの為、切り離してご使用ください。)
※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。



■上方の調整



- 本体を枠から外し、丁番の軸に高さ調整スペーサー（丁番と同梱）を入れます。
- ※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mm本体が上がります。



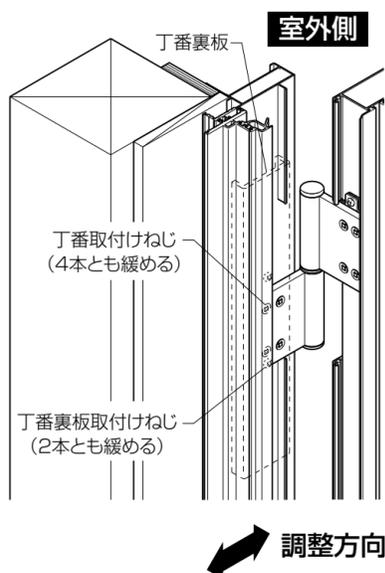
■前後(室内・室外側)方向への調整

- ① ドア本体を枠から外し、枠側の取付けねじ（4本）と丁番裏板取付けねじ（2本）を緩めます。

お願い

※取付けねじ全部を外さないでください。丁番裏板が脱落します。

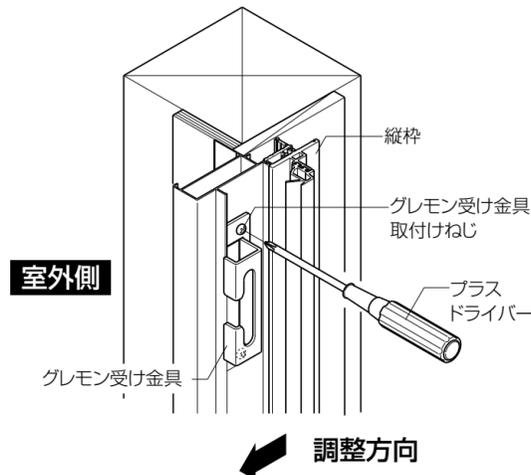
- ② 丁番裏板ごと室外側に1.5mm、室内側に1.5mm、ドア本体を移動させることができます。
- ③ ①で緩めた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締付けます。



■グレモン・ラッチ受け金具の調整

- グレモン・ラッチの掛かりがきつい場合は、グレモン・ラッチ受け金具取付けねじを緩めて位置を調整します。

【グレモン受け金具】



【ラッチ受け金具】

